

# 武洲丸の悲劇知って

## 徳之島の疎開船沈没70年

太平洋戦争中の1944年9月、鹿児島県・奄美大島から本土に向かっていた学童疎開船「武洲丸」が米軍の攻撃を受けて沈没し、同県・徳之島の子どもや女性ら182人が犠牲となった。70年経過後、悲劇は軍の機密として秘匿され、戦後も詳細が伝えられなかった。生存者が高齢化する中、島民が証言を集めて紙芝居を作り、戦争の悲惨さを語り継いでいる。

(出水翔太郎)

### 関係者にかん口令

## 島民証言集め紙芝居

武洲丸(写真右)沈没時の様子を語る沢津橋さん(鹿児島県南九州市で)

「目の前に突然、水柱が振り返った。現れた。海の下から。『助けて』という悲鳴が聞こえた。武洲丸の操舵手だった沢津橋さん(87)は、(鹿児島県南九州市)は、沢津橋さんは暗い海に飛び目を赤くして「あの目を」込んだ。周りでは子どもたちが泣き叫び、助けを求めた声が続いた。



紙芝居を作った幸多勝弘さん



約2時間漂流し、護衛艦に救助された。そこで、軍人から「この件は公言するな」と機密保持を命じられた。県本土の港に到着後、疎開者を心配する家族から「船はなぜ着かないのか」と問われたが、答えることができなかった。

太平洋戦争中、鹿児島県の奄美群島やトカラ列島沖合では、武洲丸のほか、「対馬丸」などの学童疎開船や輸送船が数多く米軍に撃沈された。当時の状況を調査している鹿児島純心女子短大非常勤講師の前橋松造さん(83)によると、40隻以上が沈められたという。

対馬丸は1944年8月22日午後10時12分頃、同県・鹿児島沖で、米軍に撃沈40隻以上。1帯は「海の墓場」。

水艦の雷撃を受けて沈没。学童780人を含め、少なくとも1485人が犠牲になった。沖繩戦を控えて多くの民間人が沖縄や奄美から本土へ疎開する一方、本土からは多数の軍人が沖縄へ送られていた。前橋さんは「2帯は海の墓場だった。特攻機などの空の惨劇は知られているが、数多くの船が沈没した海の悲劇も知ってほしい」と話している。

徳之島の元学校事務職員で、地元の戦争遺跡などを調査していた幸多勝弘さん(62)も10年ほど前、地元紙で初めて知った。

以後、沢津橋さんら当時の乗組員や、遺族ら十数人を訪ね歩き、証言を集めた。「子どもたちに悲劇をリアルに伝えたい」と思い立ち、2008年夏に紙芝居を作成。赤ちゃんを抱いたまま海に沈んでいく母親の姿など、証言を基に思い浮かんだ31枚の絵を自ら描いた。地元で披露したところ、涙を流して見る子どもたちの姿を目の当たりにした。紙芝居をスクリーンに投影できるように加工したデータをCDに複製し、「教材として活用してほしい」と徳之島などの教諭に配布している。

23日、徳之島の慰霊碑前で開催される慰霊祭で、幸多さんの親族が紙芝居を披露する。幸多さんは「70年という時が経過したが、悲劇を風化させないよう努めたい」と話している。

## 証拠品山に大量投棄

### 愛知県警 管理の警官が関与か

愛知県瀬戸市の山中に、同県警守山署が窃盗事件について捜査関係者によると、今署が数年前から保管していた証拠品が、山に大量投棄されたことが分かった。

買入・販売 刀 古美術 創業明治13年 飯田高遠堂 03-3851-3312

22000点を名古屋地検に送らず、このうち約510点を紛失または廃棄していたことが発覚。当時の上司警は21日にも詐欺容疑で再逮捕する方針。

他逮捕者は、同市の無職と建設作業員の少年2人(いずれも17歳)。

捜査関係者によると、3人は8月中旬、京都府七尾市で窃盗したとされている。

高3脅し親から80万円 県警